



今回の『ASTONE だより』は、大伴がお届けします。

暑さも和らぎ、秋の深まりを感じる季節となりました。朝晩は涼しさも増し、今年も残すところあとわずか。季節の移り変わりとともに、月日の流れの早さを改めて感じるこの頃です。

さて、来年の干支は「**丁未（ひのとひつじ）**」です。

今回は、干支の仕組みと「ひつじ」にまつわる豆知識をご紹介します。

～2027 年の干支は「**丁未（ひのとひつじ）**」～

干支は、十干と十二支を組み合わせたもので、全部で 60 通りあります。

2027 年は、十干「**丁（ひのと）**」と

十二支の「**未（ひつじ）**」が組み合わさった年です。



丁（ひのと）

十干では第 4 位で、陰の「火」を表します。丁はともしびのような火。**穏やかで芯が強く、粘り強さや繊細さ、内に秘めた情熱を象徴**します。



未（ひつじ）

十二支では羊を表し、五行では「土」に属します。羊は群れで穏やかに暮らすことから、**温厚さや協調、平和の象徴**とされています。

丁未（ひのとひつじ）

「丁未」は、五行の要素どうしが互いを生かし合う「相生(そうじょう)」の関係にあたります。灯火(ともしび)のような温かさで大地(土)を育てるように、「**穏やかな情熱で周囲を温め、地道な努力を実らせる**」といった意味が込められています。

※五行…万物を木・火・金・水の 5 つの要素で捉える古代中国の考え方



ひつじの豆知識!

知っていると
ちょっと楽しくなる
ひつじの意外な話を
集めました♪

① 眠れないときは「羊が 1 匹…」

眠れないとき「羊が 1 匹、羊が 2 匹…」と数えたことはありませんか？ 眠るという「sleep(スリープ)」と羊の「sheep(シープ)」の発音が似ていることから、眠るときに羊を数えるようになったという説があります。



また、「sheep(シープ)」と繰り返し発音すると、自然と複式呼吸になり、リラックスして眠りやすくなるとも言われています。

では、日本語で羊を数えても、効果はイマイチなのかも!?

羊を数えるより、リラックスすることが快眠への近道かもしれませんね🐑

② 羊の瞳は丸じゃない!!

羊の瞳孔は、明るい場所では横長の四角形のような形になります。これは、広い視野を確保し、まわりの様子を見渡しやすくするためだと言われています。



③ 羊は人の顔を覚えられます!!

羊は記憶力がよく、人の顔を見分けて覚えることができます。研究では、有名人の顔を覚え、正しく見分けられた割合は約 8 割だったそうです!



※これらの掲載内容は、弊社調べによるものです

2027 家族円満・笑顔あふれる

幸せな一年になりますように

